

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和2年5月8日（金）10時00分～11時05分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
宇野課長補佐、知見主任安全審査官、松井安全審査官
福島第一原子力規制事務所
田中原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、以下の説明があった。
 - 1号機原子炉格納容器（PCV）内部調査に係るアクセスルート構築作業の状況について
 - ✓ X-2ペネトレーションの内扉への穴の切削が4月22日に完了。
 - ✓ X-2ペネトレーションの内扉に開けた穴からカメラを投入し、PCV内にあるアクセスルート上の干渉物（手すり、グレーチング、グレーチング下部構造材及び電線管）の状態を確認。事前に図面、写真等で確認していた通り、アクセスルートを構築するためには当該干渉物の切断が必要であること、また切断の支障となる障害物はなくアブ्रेसブウォータージェットによる切断が可能であることを確認。
 - ✓ 5月中旬頃から当該干渉物の切断を開始する予定。
 - 2号機使用済燃料プール（SFP）内調査の計画について
 - ✓ 2号機SFPからの燃料取り出しに当たって、燃料の上部、キャスクピット等の状態を確認するため、水中ドローン（ROV）を遠隔で操作して調査を行う。
 - ✓ 水中ROV等の機材の搬入及び片付けは、これまでのオペフロ内作業で使用している遠隔無人重機及び小型ロボットにより行う。
 - ✓ 5月中旬に構外で水中ROV等のモックアップ訓練を行い、現場への機材の搬入等の準備が完了した後、6月中旬にSFP内調査を行う予定。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、
 - 1号機PCV内干渉物の切断作業の進捗について、適宜報告すること
 - 2号機SFP内調査に係る具体的な手順について、事前に説明すること等を求めた。

6. その他

資料：

- 1号機PCV内部調査にかかるアクセスルート構築作業の状況
- 2号機使用済燃料プール内調査の計画について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 汚染水対策スケジュール

- 水処理設備の運転状況, 運転計画 (2020年4月24日~2020年5月14日)
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について (2020年4月24日~2020年5月7日)
- 各エリア別タンク一覧
- 汚染水等構内溜まり水の状況 (2020. 4. 23時点)
- タンク建設進捗状況